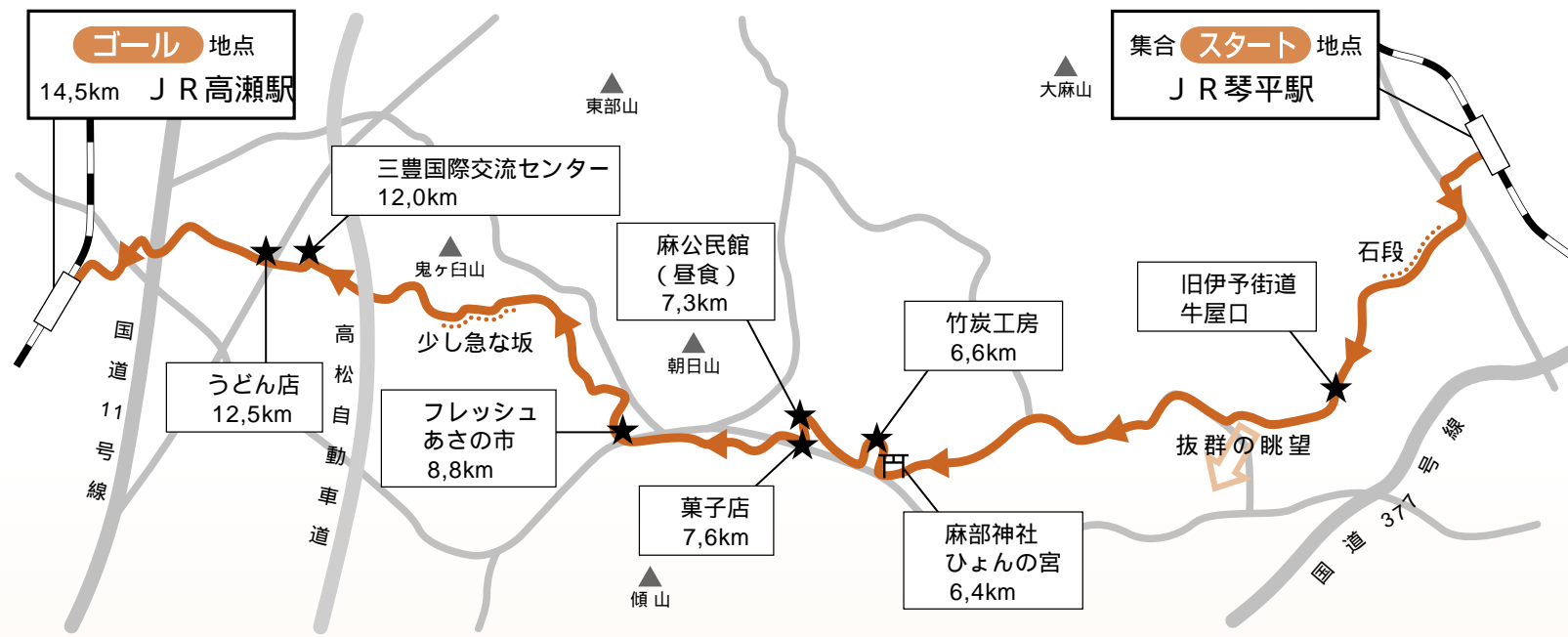


みとよネットウォーク

寄道する代(よりみちするよ)先生」と生徒の「歩(あゆむ)君」
 「美歩(みほ)ちゃん」が、「駅からウォーク」で歩いた「ウォーク」を
 毎月紹介しています。
 第18回は、6月20日に実施した『大麻山の裾野&麻産地ウォーク』
 を紹介します。

今回は、こんびらさんの参道から大麻山を越え、高瀬町麻産地を巡る約14.5kmのコースを紹介します。琴平駅を出発し、旧伊予・土佐街道にある牛



フレッシュあさの市

次は、名物のおぼろ饅頭(まじろう)があるお菓子屋(かしや)さん()に行きました。

私たちが行く時間に合わせて作ってくれていたから、ほっかほっかでおいしかったですよ。

名物のおぼろ饅頭のほか、突然にわらびもちまでいただいて嬉しいかぎり…。

高瀬川沿いを通り、フレッシュあさの市()で地元のおぼろ饅頭を品定め農家の人が心を込めて作った品物は、飛ぶように売れていましたね。

ここには7月、8月の季節限定「桃シャーベット」があるんだって。

お漬物の素をプレゼントにもらって、新鮮キュウリを買ったよ。

次は、外国人の先生がお茶の接待をしてくれた三豊国際交流センター()へ行きました。お話をゲームで参加者を楽しませてくれましたね。

建物の雰囲気も外国のようだし、外国へ旅行してみたいだったよ。

こんびらさんは朝から人がいっぱいいたわ。

次に行った牛屋口()は坂本龍馬も歩いたといわれ、まるで江戸時代のような雰囲気だったよ。

大麻山を越えて最初に行ったのは通称「ひよんの宮」と言われる麻部神社()。阿波の国からきた忌部一族が麻をたくさん作っていたところから、麻部神社といわれるようになった



麻部神社

境内にひよんの木(イヌノキ)がたくさん生えているんだって。葉に虫がつくる虫コブを笛にして遊んでいたとガイドさんが話してくれたわ。

それで、地元ではひよんの宮と呼ばれているんだね。

麻産地を歩いていると竹が多く生えていましたね。次は、この竹を使って活動している竹炭工房()を見に行きました。間引きをした竹を捨てずに再利用し、エコ環境をすすめながら夫婦で頑張っていましたね。

工房は見晴らしも抜群だし、空気もさわやかで憩いのスペースだったわ。

昼食会場の麻公民館()へ着いたのは午後1時近くになっていましたね。



三豊国際交流センター

年間通じて、お花見や七夕、ハロウィン、クリスマスなどのイベントをしているんだって。みんなで遊びに来てくださって言ってくれたわ。

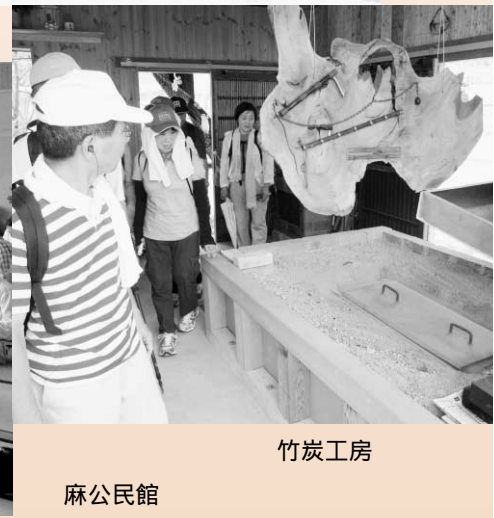
最後は、明治43年創業のうどん屋さん()へ行きました。昔ながらの製法を守り続けているのは、こしがあっておいしかったわね。

だしにもこだわりがあって、お店自慢の冷やしぶっかけは最高だったよ。

今回は琴平から三豊市に入り、麻産地を見て、触れて、食べて楽しみながら歩いたコースでした。秋はウォークに最適な季節です。今後市内各地のポイントコースを紹介していきますので、皆さん、ぜひ一度歩いてみてください。



麻公民館



竹炭工房

地元の人々ポイント

地元 遠山元久さんからのメッセージ

大麻山の裾野を中心に広がった麻産地は、豊かな自然の中で米・野菜・果物とおいしい農産物が豊富に生産されています。その守り神として祀(まつ)られてきた麻部神社を中心に残る昔ながらの商店では、今もそのままの味を継いでいます。ゆっくり歩きながら麻産地を楽しんでください。

アクセス 今回のコース

行き 三豊各地からコミュニティバスでJR琴平駅までお越しください。

JR琴平駅へは、山本線をご利用ください。

帰り JR高瀬駅からコミュニティバスで三豊各地へお帰りください。

JR高瀬駅からは、高瀬線、財田高瀬線、高瀬観音寺線をご利用ください。

本文を参考に仲間や家族と一緒に思い思いのウォークを楽しんでください。問い合わせ 商工観光課 62・1129